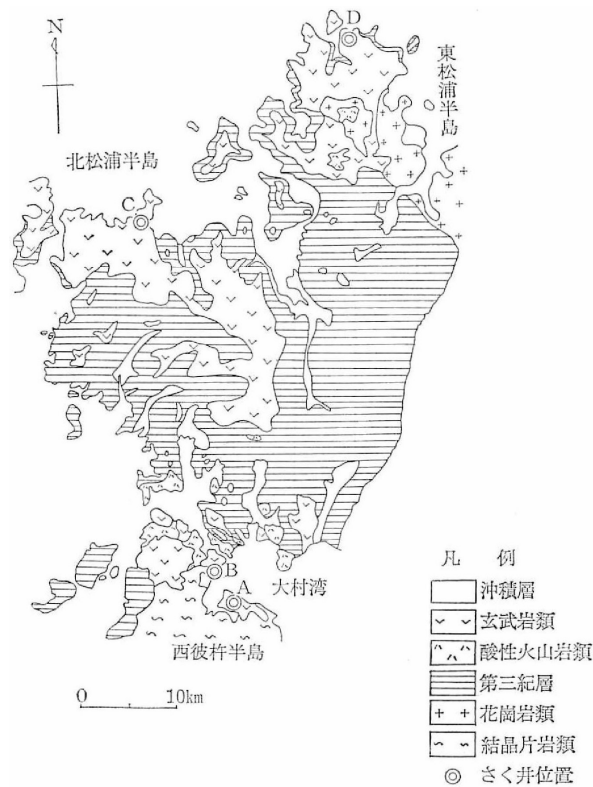


## 地形・地質

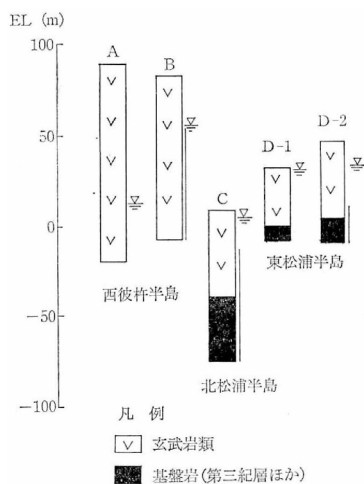
東松浦半島から北松浦半島を経て西彼杵半島の先端に至る地域は、新第三紀～第四紀初頭にかけて噴出した玄武岩台地が広がります。東松浦半島は東部で中生代の花崗岩、西部で第三紀堆積岩類を、北松浦半島は準平原化した第三紀層を基盤とします。



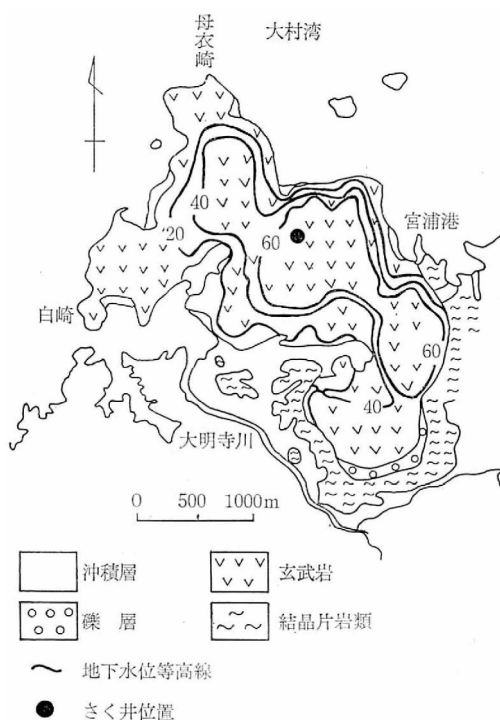
東松浦・北松浦・西彼杵半島の地質概念図

## 地下水

東松浦半島の地下水利用ほとんど浅井戸です。北松浦半島は玄武岩類と第三紀層との不整合面からの湧水や深井戸を利用しています。西彼杵半島は八ノ久保礫層およびその相当層は玄武岩類と基盤の間が存在し、玄武岩とともに有力な帯水層です。



代表的なボーリング柱状図



似田原周辺の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）